

学校協議会・会長会の運営について

- ・学校協議会の役割：保護者・地域とともに進める学校づくりを進め、より良い学校教育を推進する
- ・区 役 所の役割：保護者・地域とともに進める学校づくりの応援・仕組みづくり
- ・スポットを当てる切り口は以下の3点で、具体的な内容、行動計画は以下の通り。

切り口	具体的な内容	具体的な行動計画（2022.3-2023.4）	運営のポイント
①保護者や地域住民などのみなさんの学校運営への参加促進による「課題解決」と「好事例」紹介	各学校 協議会での課題解決、好事例紹介	2022.3 教育行政連絡会 で各学校協議会運営のスタンス合わせ 2023.4-5 各学校長と会長の1年間の運営の打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報開示と柔軟な受入れの姿勢 ・事前の情報の準備と各学校協議会へのFB ・各学校が受け入れる・共創ができる情報の整理
②各学校協議会の運営の核となる会長の認識をあげる	学校協議会会長会での好事例の情報共有	2022.3 学校協議会会長会での事例共有と、2023.4-5 各学校協議会での意見交換	
③上記促進に向けた効果的な各学校協議会の運営	各学校 協議会での活発な意見交換	2022.4-2023.3 区役所による年3回の各学校協議会のモニタリングと 教育行政連絡会 での好事例等の情報共有	
④西淀川区の学校の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・外国につながる児童が多い（淀中校下） （東南アジア、南米系） ・虐待やいじめ等、許さない教育方針がある ・地域活動に理解があり、各町会とのコミュニケーションを大切にしている ・全体的に小規模化しているが、大規模校と小規模校との差がある ・各地域ごとに学校と協力したい事項が違う 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に支援体制を構築 ・二度の重大虐待死事件を経験 ・いじめ事案等、こどもサポートネットや教育担当が柔軟かつ丁寧に対応 ・地域活動を積極的に学校の教育活動に取り入れている 強み：全教員が家庭を含め、児童の様子を把握 弱み：一部保護者対応に過度に時間がかかる 家庭や保護者の養育能力に課題がある 	
⑤学校の抱える問題点解消（ニアズベターの観点） -共有で取り組める事項-	<p>単独校では解消できない問題解消</p> <p>*教育行政連絡会等で議論</p>	<p>2021-2022年度は、高校受験対策（中2生の外部会場で外部模試を受験したことがない学生への支援策）実施</p> <p>2022 外国につながる児童支援、漢字検定等ブロック予算化、学校と地域との情報共有（こどもWebの活用等）</p>	

部分が、R3-R4の目標設定で採りあげる行動計画

※ **教育行政連絡会**は、第1教育ブロック・区のバックアップ事業の情報共有や意見交換以外に、**地域に開かれた学校（学校活性化条例）**に向けた取り組みについて通年を議題とする

（学校協議会運営（方針）のために必要な情報）

①第1ブロックでの事業、区の取組み事項を知らせることの必要性⇒各学校の運営事項はブロック予算、区事業と連動する必要があり、**情報提供が必要**
⇒年度内の会合でR4の取組みを学校協議会会長会及び教育行政連絡会で端的に説明し、R4の学校の運営策定につなげてもらう。

②**会長（委員）は学校への意見を述べるだけの情報提供ができていますか**

⇒**学校の運営の方針により、説明を行うが、学力や体力への取組み以外に、コロナ禍での子供たちの様子や、リモート環境の整備、それを受けた大きな学校運営の方向性等、説明する**

必要があるのではないかと、環境が変わるうえで、従来の事項（いじめや学力向上）等の説明をする必要があるのではないかと

③**会長は学校協議会の運営についてどのように思われているか**

⇒学校協議会会長会の意見等によると、

（小学校）コロナ禍でこどもがしんどいなど出せる場が必要（心の支援）（夜型人間になっている）、新学期学校に一歩も入っていない、学校への授業（家庭科）に参加できない、会えないので校長の方針を聞けない、

行事が中止となるが、何かこども達にやりたい。消毒の作業が負担では

（中学校）PTA協議会と先生の交流を進めたい

休みが続くと受験が問題、西淀全体のレベルアップを

⇒上記意見が出るという事は、本来の学校の運営の説明以外に、もっと対話できる情報の提供が必要と思われる